

2024 年 12 月 9 日

「エルピクセル株式会社」への出資について
～ごうぎんご縁結び 1 号投資事業有限責任組合～

ごうぎんキャピタル株式会社が無限責任組合員として運営する「ごうぎんご縁結び 1 号投資事業有限責任組合（以下、当ファンド）」は、ファンド組成後第 1 号案件として、医療・創薬領域での AI 開発会社として国内トップランナーである、エルピクセル株式会社（以下、当社）に出資いたしましたので、お知らせします。

記

1. 出資先概要

出資先名	エルピクセル株式会社 代表取締役 鎌田 富久	
所在地	東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 6F	
出資形態	株式（第三者割当増資）の引き受け	
事業内容	医療画像診断支援 AI「EIRL」の開発・販売 創薬プロセスの業務効率化を行う画像解析 AI「IMACEL」の開発	
設立	2014 年 3 月 4 日	
ホームページ	https://lpixel.net/	

2. 当社サービスの特徴と出資背景

当社は、ライフサイエンス領域において、AI を用いた画像解析技術と医療 AI（プログラム医療機器）を実用化する総合力に強みを持っています。

医療画像診断支援 AI「EIRL」は、医療現場でレントゲン、CT、MRI 等の医療画像を用いて医師が診断を行う際、病変や所見が疑われる箇所を検出することで医師の診断を支援するソフトウェアです。当社の調査によると、製品の一つである、EIRL Brain Aneurysm を併用して読影を行った場合、2mm 以上の嚢状動脈瘤候補点について、医師単独で読影した場合と比べて約 10%の感度（病変を見つける能力）が上がるなど診断精度の向上に寄与しています。

医療 AI 市場は今後、国内、海外共に大きく拡大が見込まれており、診断における AI 利活用がスタンダードとなっていく中、既に規模問わず全国 47 都道府県で 800 施設以上の医療機関で導入されている実績（2024 年 6 月時点、トライアル含む）や当社の技術力の高さ等を鑑み、今回の出資を決定いたしました。

今後も山陰合同銀行グループでは、優れた技術やサービスを有する企業の成長をサポートし、社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

以上

【参考1】EIRL ラインナップ

EIRL 医療画像診断支援AI — 製品ラインナップ

医療機器製造販売
承認・認証

9製品

● EIRL Viewer
- 画像情報を表示

販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL Viewer
製造販売承認番号：3034GBZX00046000

頭部

- **Brain Aneurysm** - MRA画像から脳動脈瘤の候補点を検出
販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL Aneurysm 製造販売承認番号：3010GBZX00142000
- **Brain Metry** - MRI画像から白質高信号領域等の自動計測とスコア化
販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL Brain Metry 製造販売承認番号：2304GBZX00107200
- **Brain Segmentation**
- 頭部CT画像から高吸収/低吸収領域及び、組織構造・境界の不明瞭化領域の抽出・表示
販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL Brain Segmentation 製造販売承認番号：3034GBZX000543200

胸部

- **Chest Screening** - 胸部X線画像から肺野陰影候補域を検出、特定の部位を自動計測
※Chest Screening は製品の総称です
販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL X-Ray Lung nodule 製造販売承認番号：3020GBZX00269000
販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest XR 製造販売承認番号：3040GBZX00285000
販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest Metry 製造販売承認番号：3024GBZX00101000
- **Chest CT** - 胸部CT画像から肺野領域の関心領域の抽出と計測
販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest CT 製造販売承認番号：3044GBZX00057200

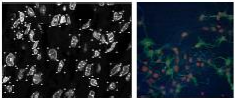
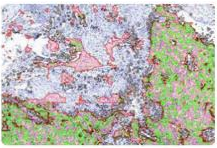
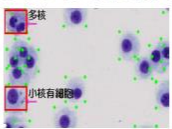
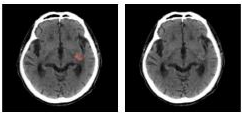
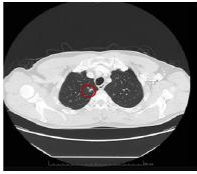
大腸

- **Colon Polyp** - 大腸ポリープ候補*を検出し、大腸内視鏡検査を支援する
*腸粘膜及び腸管腔（腸管腔内）
販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL Colon Polyp 製造販売承認番号：3040GBZX00259000

見落としが命取りとなる疾患を中心に拡大中

Copyright LPiXEL Inc. All Rights Reserved. | 1

【参考2】IMACEL によるソリューション例

探索研究	前臨床 製剤研究	臨床(治験)	製造	市販後
形態ベースの表現型スクリーニング 	動物行動解析AI 	被験者層別化AI (病理/放射線画像) 	バイアル瓶品質管理 (析出/異物混入の外観検査補助) 	早期診断補助AI 
- アッセイに用いるiPS細胞の分化/品質判定 - 組織画像を用いた空間解析による病態解析 - Cell Painting AssayにおけるMoA予測	- 安全性病理AI (正常/異常判定補助) - 小核試験判定補助AI 	薬効評価AI 	細胞製剤品質管理AI [検査装置に搭載事例]  東レエンジニアリングの光学式半導体ウェーハ外観検査装置INSPECTRAに欠陥検査AIとして搭載されています 同様の検査AIを、医薬品の製造検査にも応用可能	副作用検出/管理AI (皮膚/間質性肺炎) 

EIRL Brain Aneurysm の性能評価について

「EIRL Brain Aneurysm」を使用して読影した場合（本品併用）と使用しなかった場合（医師単独）で脳動脈瘤の検出感度を比較

■ 使用データ

頭部MRA画像 200症例 （・未破裂脳動脈瘤と診断された：50症例
・未破裂脳動脈瘤ではないと診断された：150症例

■ 結果

放射線科医：10名

医師の経験年数 5年未満（5名）

69.6% → **81.2%**

医師の経験年数 5年以上（5名）

77.2% → **82.0%**

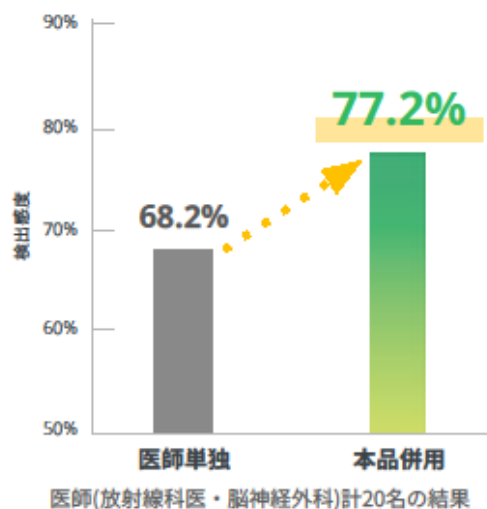
脳神経外科：10名

医師の経験年数 6年未満（6名）

53.7% → **62.3%**

医師の経験年数 6年以上（4名）

77.0% → **88.5%**



*新標準読時の旧バージョンによる試験結果です

＜本件に関するお問い合わせ先＞ ごうぎんキャピタル株式会社 投資事業部 塚本 正志 TEL 0852-28-7170